

毎年9月から12月始めぐらいにかけて、改正された税法など税理士向けの講習会が多く開催されます。プロとしては当然学ぶ必要はありますが、その手のものだけでは面白くないので個人的に興味のあるセミナーなども参加したりします。その中で良かったのは、中村文昭氏の講演でした。福岡大学の社会人のための公開講座のゲストで 学生と一緒に聴講でした。18歳で上京。あるとき野菜の行商を行っていた人と出会います。そこで話を聞く内にその人の生き方に感銘を受け弟子入りをし、以降師匠の教えを忠実に守り事業を大きく伸ばします。「0.2秒で返事する」「頼まれごとは試されごと」ということ「今できることをやる」「出来ない理由は考えない」(若いうちは、損得など考えずに無条件に依頼を受けろ。そうすれば依頼は必ず増えるし、教えを請うことにもなる。さらに苦しくなってもがんばり続けていると やがて周りの人が手伝ってくれる。そこまでがんばらないと成功しない)。20代半ばで事業はうまく行き、独立。しかし、その後も師匠から言われたとおり質素な生活を続ける(風呂なしの安アパート暮らし)。地元三重で注目される程度になるが、天狗になり他人がうまくいかない場所に3店舗目の大型店を出店。改装が予定を大幅に超え、平日の客数が伸びず倒産は時間の問題となる。サラ金など借りまくり、一度は裏の世界からも(借用書は血判だった)。しかし最も大口の債権者である酒屋に覚悟をきめて報告に行くと請求書が来なくなる、また他の業者の分も手を回して立替払いをしてくれたそうです。後で助けて頂いた理由を訪ねたところ、事業がうまくいったときに 派手なことをせずに一生懸命仕事を励む姿を見てきているので、必ず再建できると信じているとのこと。地道な努力が信用をつくる素晴らしい事例でした。あと、新幹線の乗り方についても、グリーン車を使い通路側を選ぶこと(わずかな料金の追加で普段会えないような人との出会いが可能になります)。そして何か理由を作って隣の席と話をすること。相手が話しやすいように合いの手を入れて聞くことに徹する。さらに駅に着いたらすぐにお礼のはがきを投函する。そうすることで優良な人脈を作ることが出来るそうです。1時間半の講演のあと1時間半の質疑応答でした。

先月から始まった2時間半があっという間に過ぎるのが、マツダミヒロ氏の『問塾』です。月1回で全4回。受講生参加型のセミナー。出された質問に対する回答をまとめ、グループ内で発表します。同じ問いかけに対して各人色々違う答えがあって面白い。前回の講座では、問題・悩み・課題を まず箇条書きで書き出し、次に「どのようにすれば、 (なる・できる) だろう?」と Why から How へと文章を変換。さらに そのわくわくバージョン(楽しい、最高、妄想 の状態で 口にするのが少しはずかしい程度)に再変換します。あと、「そのためには今日から何をしますか?」、「小さな一歩は?」と進めました。すると なんだか解決出来そうな心の状態に変わります。ぜひ試してみてください。

「夕学講座」。慶応丸の内シティキャンパスが実施している講演会。年間50講。そのうちの30講(各期15講ずつ)をネットで中継。福岡市では、福岡商工会議所で参加できます。会議所会員ならば半額で受講。1回のみ受講も可能です。